

市民の声とインターネット

吉村順子

junko@suehiro.nakano.tokyo.jp

ウィメンズ・オンライン・メディア・プロジェクト

第4回国連世界女性会議NGOフォーラムのコミュニケーションセンターを運営するAPCのスタッフとして、この夏北京市と懷柔市に24日間滞在することになったことは7月号で報告しました。しかし、ただ行くだけではイベントと同じで、その時だけのものになってしまうような気がします。ボランティアとして何かアクションを起こすなら、事前事後の一貫した活動まで考えていかないと自己満足に終わってしまう恐れがあります。

インターネットの運営組織がVCOMとなりほっと一息つきながら、自宅で友人と阪神淡路大震災情報ボランティアのビデオを見ていた5月のある日のことです。日頃からパソコン通信を通じて女性に関する問題の情報発信に取り組んでいる友人は「自分にもホームページが作れたらいいのに」とつぶやきました。そのとき私は、はっとひらめきました。

「日本の女性学研究者や市民活動に携わる人が、インターネット上の関連情報に劣せずアクセスするための目次になるホームページを作ろう。そうすれば、これまで電子ネットワークに積極的な魅力を感じていなかったかもしれないこの分野の人たちに、その利用価値に気づいてもらえるのではないかな。また電子メールの利用がすすめば、新しいコミュニティも形成できる」

日本の女性が抱えている問題に関する情報は、まだインターネット上にはほとんどないといってもいい状況です。日本の情報を世界から見るところにタイムリーにストックしていくことで、各国のNGOスタッフとの相互理解も図れるのではないのでしょうか。

さいわいWWWサーバーは、VCOMのオペレーションをしている末廣ハウスにもあります。女性学という分野と、VCOMの接点をいろいろ考えてみました。

ホームページを作れば、日頃、資料を集めるために手元に控えてあるURLをいちいち参照しないで済むようになります。どちらかというと、まず自分たちの手間を減らすために始めてみない？ ということで、さっそく電話連絡をとり始めました。昨年何回か顔を合わせていた知人を中心に女性ばかり7名が集まり、次の土曜日には末廣ハウスで初めてのミーティングが開かれました。

動き始めると早いもので、次の週のうちに連絡用、作業用のメーリングリストができ、6月3日には、素朴なもののですが、Women's Online Media Project (WOM : ワム) のホームページが公開されました。

主な内容は、女性学データベース情報とそのリンク、女性学関連MLの紹介と参加方法のサマリー、北京女性会議のホームページへのリンクなどです。また、今後は北京女性会議に参加する日本の女性たちの情報も入れていきます。慶応大学の大学院生も積極的に参加し、文書のHTML化や翻訳、女性学データベースやWWWサーバーの最新状況の確認作業などをこなしてくれています。財団法人横浜市女性協会には長年の活動で蓄積していた情報をこころよく提供していただき、感謝しています。海外からのアクセスを意識し、英語のページに力を入れました。この号が発売されるころは、北京会議前ということで、かなり充実した内容になっていると思います。

世界的に広がりをもつ市民活動をしようとするなら、もはやインターネットの活用は不可欠です。だれもが、まずインターネットで情報を探します。日本のインターネットに世界から注目されるようなホームページが1つでも多く存在し、いろいろな問い合わせに十分答えられる運用体制を備えた組織が多くなることが、インターネットを生かす国際交流といえるのではないのでしょうか？

コミュニケーションスタッフのMLで「日本にも女性問題を扱うWWWサーバーを作ったよ」と報告したら、「すごくエキサイティングなニュースだ！ おめでとう」と、やや興奮ぎみの返事がありました。どうしても日本語を表示させたいから教えて、という熱心なメールも来ています。北京では、2バイト文字を通さないネットワークしかないようです。現地で日本語テキストをエンコードして送り、それを末廣ハウスで受けて自動デコードし、適切なMLやニュースグループ、WOMのWWWサーバーなどに投稿するしくみを、北京に行く前に技術担当者と力を合わせて作ります。さあ、これからがちょっと大変かな。夏バテとは無縁の私ですが、みなさんもからだを大切に！



WOMのホームページ <http://www.suehiro.nakano.tokyo.jp/wom/index.html>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp